

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和5年3月10日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから3月10日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

まず、広報日程に入る前に、コロナウイルス対策でのマスク着用ルールの変更についてお知らせします。

政府全体の方針として、来週の月曜日から、屋内でのマスク着用は推奨ではなく個人の判断に委ねるという方針になっています。それを受けまして、規制委員会でも、月曜日から委員、職員の執務中とか会議中のマスク着用は個人の判断に委ねるということにします。それを受けまして、外部からの来訪者、会議の傍聴とか取材の記者の方々についても、マスクの着用は個人で判断をしていただくということになります。

では、広報日程に入ります。

まず、3月14日の（2）ですけれども、核燃料施設等の審査会合です。

議題は3つありまして、1つ目は、京大炉の標準応答スペクトルの件で、これは基準地震動が追加されていますけれども、耐震設計方針を変更する必要はないという旨を今回確認するというこのようです。

2つ目が、京都大学の臨界実験装置の設工認で、これは、これまでのコメントへの回答などです。

3つ目は、日本原電の東海低レベル廃棄物埋設事業所、いわゆるトレンチ処分ですけれども、前回、2月14日のコメント回答などということです。

次が、3月14日の（3）ですけれども、高経年化技術評価に関する審査会合です。

議題は1つで、柏崎刈羽3号機の30年時点での評価の件で、2号機のデータを流用したという件で、是正措置の内容の説明ということです。

次が、3月14日の（4）事故トラブル事象への対応に関する会合です。

議題は1つで、1月30日に発生した高浜4号機の自動停止の件で、これは前回3月7日にもやっていますけれども、そのときのコメントへの回答などです。

次が、3月14日の（6）第1123回審査会合です。

議題は1つで、川内1・2号機の運転期間延長の認可です。

前回1月24日の続きで、コンクリートの劣化の評価などです。

次が、3ページ目に行きまして、3月16日の（8）第1124回審査会合です。

議題は1つで、泊3号機の新規制基準の許可で、前回2月28日の続きで、重大事故対策などについてのまとめ資料の作成の確認ということになります。

3月16日の（9）東海再処理の安全監視チームです。

議題は3つで、1つは、廃止措置の進捗状況の年1回の定例報告みたいなものです。

議題の2つ目は、固化処理状況ということで、熔融炉の停止の件の原因調査の結果と、新しい熔融炉の準備の状況の報告があります。

3つ目は保安規定の変更の認可ということで、1月18日に申請があつて、今回が初回というものになります。

次が、3月16日の（10）ですけれども、第1125回審査会合です。特定重大事故等対処施設が議題のため非公開となります。

議題は2つで、1つ目は、島根2号機の許可。

2つ目は、玄海と川内の設工認で、これは火災感知器のバックフィットです。

次が、3月17日の（11）ですけれども、緊急時対応に係る訓練及び規制の関与の在り方に関する会合ということで、これは事業者から、訓練の在り方に関する課題の検討状況と、あと、試行的に行っている訓練の実施状況の報告というのがあります。

次のページに行きまして、3月17日の（12）ですけれども、これは先ほどの（11）の核物質防護版ということになりまして、核物質防護なので非公開ということになっています。

次が、3月17日の（13）第1126回審査会合です。

議題は2つありまして、1つ目は、敦賀2号機の新規制基準の許可で、これは前回2月10日に引き続きまして、調査データのトレーサビリティの件ということになります。

2つ目は、玄海3・4号機の審査会合資料の品質保証ということで、標準応答スペクトルの議題の、過去の審査会合とかヒアリングなどの資料の誤りがあったということで、その件ということです。

次が、3月17日の（14）ですけれども、核燃料施設等のほうの審査会合です。

議題は1つで、常陽です。

2月22日に申請書の補正がありまして、それについて若干修正を依頼するというようなものということです。

最後は、3のその他のところでも、JANSI（一般社団法人原子力安全推進協会）のAnnual Conferenceで、委員長がビデオレターで来賓挨拶をされます。

こちらからは以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから御質問をお願いいたします。質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

ヤマダさん。

○記者 新潟日報のヤマダです。

2ページ、(3) 3月14日の高経年化技術評価のKK（柏崎刈羽原子力発電所）3号炉の2号炉の資料の流用問題ですけれども、これは今回の会合で締まりそうな感じなのでしょうか。

○黒川総務課長 どこまで進むのかは。いずれにしても東電から説明はあって、それを受けてどうなるかまでは分かりません。

○記者 何か新しいのが出てきたりはしないですか。

○黒川総務課長 それは分かりません。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほかに御質問はいかがでしょうか。

司会の広報室、中桐ですけれども、1点、お手元の4ページ目、3月17日の(15) 原子力規制庁記者ブリーフィングにつきましては、翌週の休日との関係で、この日、17時半からの開始とさせていただく予定となっておりますので、御了承ください。

ほかに御質問はよろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございます。

—了—